

情報化施工における衛星測位技術活用セミナー

～電子基準点の有効活用～ ご案内

衛星測位技術は、建設工事の分野で情報化施工を実現する重要な技術となっています。測量や建設工事で利用する場合には、GPS による相対測位方式が用いられることが多く、この方式では、調べるべき位置である未知点と、すでに座標が分かっている既知点の双方に GPS 受信機を配置し、同時に同じ衛星からのデータを受信しながら、相互通信によって位置補正をすることによって精度良く位置情報を取得します。

一方、国内では電子基準点網が整備されており、相対測位の既知点(基準点)としてこの情報を利用することが可能です。この情報を効率よく利用する方法としては、測位補正データの配信サービスを用いてネットワーク型 RTK-GPS 測位システムを構築する手法があり、基地局の設置が不要なシステムとして、静止基準点測位への普及はなされつつありますが、移動体測位が必要な情報化施工の建設機械制御の分野では、まだ本格的な導入がなされておられません。今後、さらに情報化施工を普及させるためには、衛星測位電子基準点機能を使用したネットワーク型 RTK-GPS 測位システムの活用が必要になります。

この度、この衛星測位技術普及のため、国土地理院、(社)日本測量協会のご協力を得て、ネットワーク型 RTK-GPS 測位システムを始めとする最新技術動向を紹介し、各方式の構成、適用範囲、精度、コスト等の情報提供をすると共に、3次元マシンコントロール等と組み合わせた実機稼働を伴ったシステムの運用実験を含んだ「総合的衛星測位技術活用セミナー」を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

なお、参加応募人員に限りがございますので、早めの申し込みをお願いいたします。

記

1. 開催日程 平成22年10月20日(水)10時30分～16時(予定)
バスは、新富士駅前(新幹線口)を9時50分に出発予定です。
2. 場 所 (社)日本建設機械化協会施工技術総合研究所
(静岡県富士市大淵 3154)
3. 参加費用 3,000円/人(テキスト代、JR 新富士駅～施工技術総合研究所までの往復交通費、昼食代を含む)
※当日、会場にてお支払いください。なお、当日、支払ができない場合は、事務局までご相談ください。

4. 主 催 社団法人日本建設機械化協会 施工部会情報化施工委員会
 5. 対 象 者 施工会社、建設機械メーカ、情報機器メーカ、レンタル会社、発注者等の情報化施工に関する有る程度の知識を持っている方

6. プログラム(案)

- 1) 情報化施工の総論
- 2) 測位、測量技術の最新動向「GPS(NW型含む)各測位、機器構成、特徴等、コストを含めて紹介」
- 3) ネットワーク型 RTK-GPS の最新動向「VRS を含む NW 型について事前比較試験の精度検証結果と原理、機器構成、コストについて紹介」
- 4) 屋外ヤードにおける実機稼働デモンストレーション

7. お申し込み及びお問い合わせ

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、下記まで郵送、Fax またはメールにて、平成22年10月15日までにお申し込みください。

(社)日本建設機械化協会(担当:両角)

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8(機械振興会館)

TEL:03-3433-1501 FAX:03-3432-0289 mail:morozumi@jcmnet.or.jp

平成22年 月 日

「情報化施工における衛星測位技術活用セミナー」参加申込書

No. _____

(フリガナ) 参加者お名前			
機関名(会社名) 所属・役職			
連絡先住所			
	TEL		FAX
E-mail			